



# 青き楓

島高だより  
平成23年8月号

(通巻第65号)  
長崎県立島原高等学校  
編集: 情報図書部

校長室から

## 「島原(半島)の子供は島原(半島)で育てる」

校長 辰田幸敏



今から17年前の長崎北陽台高校時代、「学校の周囲4Km以内の生徒たち」が夏の甲子園でベスト8になった。今度は母校・島高で「島原半島出身者だけのチーム」が全国で3位になった。極めて価値のある3位であり、これまで島高レスリング部を支えていただいたすべての方に感謝したい。この夏のインターハイ北東北総体でのレスリング部の団体戦での快挙である。本校としては3位は初めてであり、県勢としても36年ぶりだそうである。2年前の剣道部女子の3冠達成時もそうだが、今回も運良く私は会場で選手・監督等と一緒に喜びを分かち合うことができた。あの時の選手と監督の笑顔が今でも鮮明に浮かんでくる。2月の九州新人大会で初優勝していたので、「もしかしたら…」と期待はしていたものの、会場に入り出場校をみて驚いた。工業高校と私立高校ばかりである。進学校は1校もない。それでも3回戦を勝ち抜き、準決勝戦は優勝候補の花咲徳栄高校(埼玉)である。大きなプレッシャーの中で2対5で敗れはしたものの、選手や監督の表情からは「目標ラインは達成した」という満足感が感じられ、私も心底嬉しかった。控えの選手も何かと細かな気配りをみせながら、選手をよくサポートしていた。まさに「チーム」として相手と戦っていたのである。教え子の新聞記者からも「さすが、島原高校ですね…」と祝福を受け、選手たちを、そして「島高」を私は大変誇らしく思った。個人戦でもレスリング部が3位と5位、弓道部女子が5位とよく健闘した。3人とも2年生なので、全国の舞台で来年も今年以上の活躍が期待される。青き楓たちよ、頑張れ!  
 <夢は違うものではなく、自分の手で掴み取るものである>



## 9月の主な行事予定

1日(木)	9/3の代休	16日(金)	国体壮行会 東大金曜講座
2日(金)	始業式*補習なし 青楓祭[文化祭]1日目	17日(土)	3年進研マーク模試 進学ゼミナール
3日(土)	青楓祭[文化祭]2日目	18日(日)	3年進研マーク模試
5日(月)	9/10の代休	19日(月)	敬老の日
8日(木)	青楓祭[体育祭]予行*補習なし	22日(木)	3年学年末考査時間割発表
10日(土)	青楓祭[体育祭]設営・練習等	23日(金)	秋分の日 1~3年土曜講座
11日(日)	青楓祭[体育祭]	26日(月)	1,2年中間考査時間割発表 *部活動休止
12日(月)	9/11の代休	29日(木)	2学年PTA・進路講演会 後期学級役員任命式
13日(火)	①②校時大掃除	30日(金)	3年学年末考査①日目
15日(木)	2年理数科研修[長崎県立大学]		10/5)



## 平和学習



長崎原爆の日である9日、全校生徒が集い『島高ピースフォーラム』が行われました。被爆者を取り上げたドキュメンタリーを鑑賞したあと、生徒会により平和メッセージが朗読され、原爆投下時刻の11時2分、黙祷を捧げました。被爆県長崎県民の一人として、被爆された方々および過去の大戦で犠牲に遭われた多数の方々を追悼し、平和の意味を真摯に考える事が出来ました。  
 <生徒の感想>◆原爆投下から66年。毎年、平和集会のたびに「〇年前に」の数字が大きくなっていきます。その時間の長さによって、私たちの戦争と平和を考える気持ちが変わってはいけません。◆米人科学者が(高齢の被爆者に)「あなた方は、今生きているのだから幸せではないか。」と語りかけるシーンがありました。確かに生きているのは幸せなのかも知れないけれども、今も尚、心に残る惨劇と向かい合いながら過ごしているのは、とても辛いものだと考えます。◆米人科学者と被爆者の対談を聞いて、私は今まで「日本人として」ばかり考えすぎていた気がしました。一人の「人間として」戦争と平和の問題を考えるべきだと気づかされました。



## 部活動等の実績

### 全国高等学校総合体育大会

- レスリング部
  - 団体 **第3位**
  - 個人 84kg級 佐藤聖翔 **第3位**
  - 74kg級 松坂誠彦 **第5位**
- 弓道部女子
  - 団体 決勝トーナメント1回戦敗退
  - 個人 松田沙季 **第5位**
- ソフトテニス部男子
  - 長嶋・幸田組 5回戦敗退 ベスト32

- 剣道部男子
  - 団体決勝トーナメント1回戦敗退
- 剣道部女子
  - 団体決勝トーナメント1回戦敗退

ソフトテニス部男子:たくさんの方々に応援していただき、ありがとうございます。お陰で自分たちらしいテニスが出来ました。満足のいく結果ではありませんでしたが、大舞台でプレーできたことは、とてもいい経験になりました。この経験をこれからは活かしていきたいと思います。

剣道部男子:目標であった日本一を達成出来ませんでした。出来ることは全てやって望んだ大会だったのでとても悔しかったです。この経験を生かしてもっと力をつけて先生方の教えを守りチーム一丸となって必ず日本一になってほしいです。応援ありがとうございました。

剣道部女子:とても残念な結果に終わってしまいました。自分たちの力不足と気の持ちようがこの結果に繋がったと思います。次は新チームとなるので、後輩にはまたこのような結果には終わってほしくないの、日々の練習に励み来年こそは全国制覇を成し遂げてほしいと思います。応援してくださった方々本当にありがとうございました。

### 主将コメント

レスリング部:初戦から厳しい試合が続きましたが、団体戦で3位に入賞でき嬉しく思います。この結果は選手だけでなく、先生方も含めたチーム全員で勝ち取った結果だと思います。今後もこの結果に満足することなく、さらに上を目指して精進していきます。

弓道部女子:あまりにも儂く短いク分間でした。1本の重みを改めて感じ、悔しくてたまりません。しかし、この大舞台に立てたのは、皆さんの応援があつてこそこのことです。県高総体から2か月間も長く弓道が出来て幸せでした。今まで応援ありがとうございました。

# 3年

# 雲仙学習合宿



【第3学年主任 片山 泰成】

今年で30回目となる雲仙学習合宿を8月17日(水)から24日(水)までの7泊8日で実施しました。3年生257名(94%)が参加し、1日11時間の自学と30分間のListeningという、日常の生活では考えられない長時間の学習に取り組みました。この合宿の主な目的は、自学の習慣づけ、集中力・持久力の養成、そして苦手科目や強化する科目の集中的な学習です。最初は、長時間机に向かうことが大変な様子でしたが、日を追うにつれ集中力も高まり、時間が短く感じられるようになってきたようでした。じっくりと時間をかけて学習したり質問に行ったりすることによって、日頃の授業で分からなかったところの解決や理解を深めることができ、わかる喜びや学ぶ喜びを感じた生徒もたくさんいたようです。生徒の感想文には次のようなコメントがありました。「合宿に参加して本当に良かった」「集中力が高まった」「やればやるほどやらなければならないことがたくさんあって、時間がないことがよく分かった」「きついときに友達の姿に励まされた」「質問に行ったらわからなかったところ(プラスα)をわかりやすく説明してもらってよく理解できた」「今まではあまり質問に行っていなかったけど学校でも質問しようと思った」「先生方のスピーチはとても良かった」

この合宿で得たものは大変大きかったようです。大変な雲仙学習合宿を乗り越えたことを自信にかえ、今後のさらなる成長に繋げてほしいと思います。そして第一志望校の「合格」を是非勝ち取ってほしいと思います。頑張れ!64回生

日	課
6:30	起床
6:45~	体操・散歩
7:10~	朝食
8:00~10:00	学習①
10:10~12:10	学習② 質問可
12:20~	昼食・休憩
13:20~15:50	Listening+学習③
15:50~17:50	学習④ 質問可
18:00~19:45	夕食・入浴・休憩
20:00~22:00	学習⑤ 質問可
22:00~22:20	反省記入
22:30~23:30	学習⑥
23:30~23:50	班長会・就寝準備
24:00	消灯・就寝



校長先生激励



熱心に質問



各部屋で自学



OBも質問対応

## 青楓祭2011

テーマ「Link~響き合う思いを未来へ~」

- 文化祭 9月2日(金)
  - 13:20~15:25 島原文化会館 ステージ発表(部活動)
  - 9月3日(土)
    - 9:00~10:40 本校体育館 ステージ発表(学科、クラス)
    - 10:40~12:20 本校校舎 展示・イベント発表(クラス、部活動)
    - 12:50~15:20 島原文化会館 ステージ発表(部活動ほか)
- 体育祭 9月11日(日)
  - 9:00~15:30 本校グラウンド



## 理数科研修旅行

1年生 8月1, 2日 長崎総合科学大学

【1年理数科担任 本村 晋一郎】

工学部、情報学部、環境・建築学部にまたがって、6講座を開設して頂きました。初めて大学に足を踏み入れた生徒がほとんどであり、講義や研究の一端までも体験できたことは、とても刺激になる良い経験でした。中でも臨床工学技士養成コースの授業では、医歯薬に始まり、医療系全般について、大学進学の意味までお話をいただき、熱心にメモをとる生徒が多かったようです。実際の医療器具の説明に真剣に聞き入る姿も印象的でした。大学や学部学科選択職業を考える上で、大いに参考になる有意義な研修でした。



ロボットを動かそう

2年生 8月22日~24日 熊本県・崇城大学

【理数科主任 細田 正俊】

本年度は、工学部、情報学部、生物生命学部、薬学部の体験講義や実習をしていただきました。「犯罪捜査とナノサイエンス(ルミノール反応)」「ゲームをつくろう」「再生医療につて」「心電図を測定しよう」「プロペラ機のコックピット体験」「宇宙航空工学について」「DNA抽出実験」など、どれも高校では体験できないような実習や講義ばかりで、科学に関する興味関心が更に高まりました。



航空キャンパス見学

1年生 8月12日 巡検研修

平成25年に開催される「長崎しおかぜ総文祭」の巡検研修に向けた講座です。巡検研修とは自然科学部門に参加する全国の高校生が雲仙山系に登り、大自然に触れながら自然科学について理解を深めていく研修です。その高校生ガイドとして本校理数科1年生が二年後を見据えて、雲仙山系に登りました。雲仙合宿でも登った1年生ですが、雲仙の地形や植物に詳しい先生方から説明を受け、目を輝かせていました。2年後に雲仙の自然PR大使となってくれることでしょう。



自然を学ぼう

## 3地区PTA懇談会

【PTA会長 蒲池 興照】

私たち保護者は、生徒・先生・保護者・OBそして地域を加えた「チーム島高」の大切な一員です。我が子が、その友が充実した文武両道の高校生活を送るための応援団です。その中でも、島高を支える一番の底力は地域に根ざす保護者のチーム力だと思います。数年前までは瑞穂以北から小浜雲仙も含め全22地区で地区別懇談会が開かれていましたが、現在は北目、市内、南目と大きく3地区に分けて地区・学級の評議員を中心に地区懇談・懇親会を開いています。今年も7月13日に北目会、7月20日に南目会、7月26日に市内会を行い、学校からは校長先生、両教頭先生、宮崎事務長、酒井教務主任や宮本進路指導主任、PTA担当の荒木先生などにお世話になりました。校長先生は「徳の教育をベースに、文武両道に励む生徒を育てたい。旗手として、熱いハートを持ち創造性と積極的な行動力を身につけてもらいたい」と島高の生徒像を描きながら教育方針を語って頂き、教頭先生からは資料を基に大学進学へ向けての準備についてお聞きしました。「九大は学校の授業をきちんと理解していけば大丈夫です」と心強い言葉もありました。他にも、旧地区単位やクラス毎の懇談会も開かれているようです。PTAは学校のビタミン剤。一緒にがんばりましょう。



北目会



島原会



南目会